



2010年9月16日

各 位

会 社 名 イオン北海道 株式会社  
 代 表 者 名 代表取締役社長 植村 忠規  
 (コード番号 7512 東証1部・札証)  
 問合わせ先 取締役執行役員  
 管理本部長 天廣 俊彦  
 (TEL 011-865-9405)  
 当社の親会社 イオン株式会社  
 取締役兼代表執行役社長 岡田 元也  
 (コード番号 8267 東証1部)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2010年4月14日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### 1. 2011年2月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正 (2010年3月1日～2010年8月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	75,500	700	350	150	1円45銭
今回発表予想 (B)	74,726	1,665	1,324	768	7円40銭
増減額 (B-A)	△774	965	974	618	
増減率 (%)	△1.0	137.9	278.3	412.0	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2010年2月期第2四半期)	75,639	55	△62	△96	△0円93銭

### 2. 修正の理由

当第2四半期累計期間における北海道経済は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、まだまだ先行きに対する不透明感や雇用不安等から厳しい状況は続いております。

このような経営環境の下、当社は統合3年目を迎え引き続き競争に勝ち抜くために構造改革に取り組み、平成22年度の重点施策である「営業力の強化」「収益構造の改革」「成長戦略の推進」等を柱として取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の業績につきまして、売上高は747億26百万円(前年同四半期は756億39百万円)と前回予想数値を下回る見込みであります。しかしながら、昨年より取り組んでおります在庫の削減による荒利益率の改善や、経費においては人員配置の見直し、所定内勤務を基本とした労働時間管理の徹底による人件費の削減、また、施設管理・賃貸借契約の見直しによる設備費の削減等の収益改善の施策が着実に成果をあげたことにより、営業利益16億65百万円(前年同四半期は55百万円)、経常利益13億24百万円(前年同四半期は62百万円の経常損失)、四半期純利益7億68百万円(前年同四半期は96百万円の四半期純損失)となり、営業利益・経常利益・四半期純利益ともに前回予想数値を上回る見込みであります。

なお、通期の業績予想につきましては、修正はありません。

※前年同四半期は連結財務諸表を作成しており個別の数値は開示していなかったため、前年同四半期の個別実績は参考として記載しております。また、上記記載の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上